

子どもの育ちや学び

保育者の思い

戸外に出ると、「今日も工事しよう」と集まって遊び出す姿が続いていたので、引き続き好きな遊びを楽しんでほしいと思い、家づくりに発展していく様子を見守りたいと思いました。

必要な物を考えて使うことで、家づくりがより楽しくなるように、子ども達の様子を見守ったり、問いかけたりしました。また、子ども達の要求をすぐに実現できるように段ボールと一緒に探しに行きました。

後から遊びにやってきた友達を受け入れ、一緒に遊び始める姿に成長を感じました。また、自分たちがつくった家に興味をもって遊びに来てくれたことを喜んでいようにも感じました。自分の思いを出しながらも、友達と一緒に遊んでいる様子を見守りたいと思いました。

普段の生活と遊びはつながりやすく、イメージの共有がしやすいため、より遊びが楽しくなると感じました。自分の思いを出して遊べる安心感が意欲的に遊ぶ姿につながっていると思いました。

お家の方へ

これまで遊びで使ってきた用具や道具を使って、遊びを進めています。子どもたちなりの発想で遊びが進んでいく様子に成長を感じますね。子ども達は生活経験がそのまま遊びに取り入れられているところがとても面白かったですよ。

エピソード

「工事中です!」と工事ごっこをしていたAくんBくんCくんたちは、「次はお家つくろう」と家づくりを始めました。

保育者が「家つくるには他に何があるかな」と問いかけると、Aくんは「ドアがほしい」と言いました。Bくんたちも「ドアつくろう!」と言ったので保育者が「何でドアつくる?」と聞くと、少し考えてから「段ボールほしい!」と言いました。

家づくりを進める様子を見て、DちゃんEちゃんが「いーれーて」とやってきました。Aくんたちは「どうぞ!こっちがドアやからこころ入って」と話しました。

さらに家づくりのイメージが広がり、ホースも使おうと持ってきました。保育者が「ホースはどこに使うの?」と聞くと、「キッチンにある!水が出てくるところ」と蛇口に見立てて遊び始めました。

これ使おう



- ・友達と一緒に好きな遊びを日々継続しながら楽しんでいる
 - ・必要な物を選んで遊びに使う
- (遊びの発展・意欲・友達と一緒に遊ぶ楽しさ)

段ボールでつくろう!



- ・つくりたい物に近づくように何が必要か考えている
 - ・友達とつくりたい物のイメージが重なることでより遊びが楽しくなっている
- (友達と一緒につくる楽しさ・思いが重なる嬉しさ)

下には水道管もある



イスに座ろう

- ・生活の中で知っていることを遊びの中で再現している
 - ・友達が遊びに来てくれたことが嬉しい
- (生活経験を生かして遊ぶ・友達を受け入れる)

水が出てくるよ



- ・さらにイメージを広げ、ホースを蛇口に見立てて遊ぶ
 - ・その場の雰囲気を楽しむ
- (雰囲気を楽しむ・イメージの共有)